



しんじょうやまだより

平成 29 年 5 月 26 日発行

放射線科

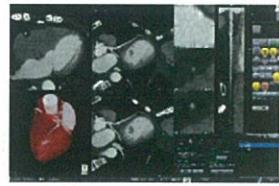
最新の X 線 CT 装置が導入されました

旧 X 線 CT 装置（64 列）は導入から 9 年が経過し、現代の医療社会から求められる様々なニーズへの対応が難しくなってきたことから、この度最新の X 線 CT 装置が導入されましたので、その特徴について紹介します。

新装置は、シーメンス社製（ドイツ）の X 線 CT 装置（128 列）です。旧装置より撮影速度が速く、検査時間の短縮と共に高画質のイメージが得られる最新の装置です。特に心臓の検査に優れていますが、頭部から下肢までの全身の検査にもハイ・クオリティな画像を構築することができます。

また、旧装置による整形外科や歯科領域で金属置換術を行った患者様の CT 検査は、金属アーチファクトによる画質の劣化が問題となっていました。しかし、新装置には金属アーチファクト除去の最適アルゴリズムソフトが搭載されていることから、金属置換術を行った患者様の CT 検査においても画質が格段に向かることから、CT 検査の適応が拡大されます。

放射線科では、今後も安全で安心な質の高い医療を患者様や地域住民の皆様に提供していくため、新装置のテクノロジーを最大限に活用し、CT 検査を行っていく所存です。



疼痛緩和ケア委員会って何？

青森厚生病院で診療するガンの患者に対して、継続的に適切なリハビリテーションを含めた緩和医療を提供することで、患者及びその家族の質を維持し、並びに病気に対する苦痛及び不安を緩和することを目標としています。

医師、薬剤師、看護師、リハビリ科でチームを構成しています。

まだ、活動出来ていないのが現状です。

今後、各職種での役割を明確にし緩和ケアチームとしての活動を始める予定です。

